

### (4) 練り混ぜてから打ち終わるまでの時間は適切か

セメントは水と接した時点から水和が始まります。表面に薄い水和物の皮膜ができて、水和反応がしばらくの間は低調になります。水とセメントが接してから4~5時間は、このような状態が継続しますが、この間にも変化の程度はわずかですが水和反応は進行しています。実際には、スランプが少しずつ小さくなります。

JIS A 5308「レディーミクストコンクリート」では、生産者が練混ぜを開始してから運搬車が荷卸し地点に到着するまでの時間の限度を、原則として1.5時間（90分）以内と規定しています。また、示方書においては、外気温が25℃を超えるときは、練り混ぜてから打ち終わるまでの時間の標準を1.5時間（90分）以内としているため、工場から現場までの運搬時間は1時間（60分）以内を目安に現場条件を考えて生産者と協議して定めるのが適切です。

### スランプの経時変化

